



ひだまり

第40号

平成30年9月発行

～いしかり農業委員会だより～



浜益区の黄金山(こがねやま)



黄金山のふもとに咲く
シラネアオイ



黄金山のイチイの木



1500歳のイチイの木

～ 主 な 内 容 ～

- ・平成30年度「農業委員道内視察研修」報告
- ・恋も野菜も収穫の秋 いしかりで農婚！
- ・永年勤続者表彰受賞おめでとうございます
- ・全国農業新聞の購読申込について
- ・「農業者年金」に加入しましょう！

浜益区には推定樹齢1500年、幹まわり5メートル以上、樹高18メートルの「イチイの木」があります。

平成12年、環境庁「巨樹巨木林調査」においてイチイの部全国第18位、北海道内第5位に認定された巨樹巨木です。

黄金山の登山口に向かう林道の途中で、林道から徒歩5分の森の中に位置しています。

(石狩市HPより抜粋)

平成30年度「農業委員道内視察研修」報告

石狩市農業委員会では、平成30年7月6日～7月7日にかけて、月形町、旭川市、富良野市で視察研修を行いました。

【1】月形町農業委員会

月形町の農業・農業委員会の業務概要等について農業委員会会長・事務局職員から説明を受けました。

月形町役場(農業委員会は1F)



月形町農業委員会多田会長による説明を聞いている様子



挨拶をする石狩市農業委員会須藤会長(左)と木村職務代理(右)



【2】月形樺戸博物館

月形町役場を出てすぐ左手にあります。

明治維新期の日本は国を良くしようと各地で戦いが起きました。政府がこの争いを収め、戦いに敗れた者たちは収監されてしまいました。それが「集治監(しゅうちかん)」と言う国立の監獄でした。北海道で最初に設置されたのがここ樺戸集治監です。

労役についた囚人たちは、後に北海道の道路づくりに駆り出されます。これは北海道内陸部開拓の基礎となり、大きな功績を残していました。

また、博物館本館から続く農業研修館では先人たちの開拓の労苦が展示開設されており、北海道だけではなく、日本の歴史に深くかかわっていた樺戸集治監の歴史に触れることができました。

旧樺戸集治監本庁舎



現存する建物は、大正8年に樺戸監獄が廃監となるまで事務所として使用され、その後、昭和47年まで役場庁舎、昭和48年から北海道行刑資料館として一般公開されています。

博物館本館

樺戸集治監の当時の様子が展示再現されています。





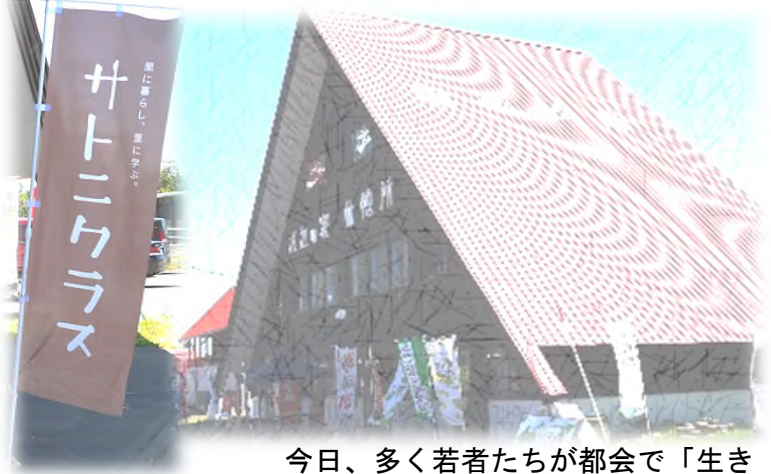
【3】NPO法人 サトニクス

農福連携の先駆的な活動を行なっているNPO法人サトニクスの直売所にて法人設立の背景と現状について学びました。

～里に暮らし、里に学ぶ～
「サトニクスの設立の背景」

月形町には知的障がい者施設「雪の聖母園」があります。障がいがあってもなくても、お互いが特別に区別されることなく、社会生活を共にするという考え方（＝ノーマライゼーション）を掲げ、まちをあげて社会福祉に取り組んでいました。

月形町役場から車で5分。月形ゆりかご温泉向いの赤い三角屋根が目印です。



店内のポップも自分たちで作っています

10月中旬まで!
無休
で営業中!!
時間 10:00～18:00



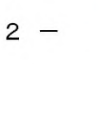
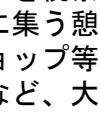
今日、多く若者たちが都会で「生きづらさ」を抱え、居場所を求めています。数年前からここ月形町でも、都会からやってきた若者が人手不足の農家での作業を行なうなどの活動を始めています。

地元で栽培されている野菜を活用した漬物づくりで地域おこしを行い、古き良き農村という環境で、新たなコミュニティを創りそれを継承していく姿やその思いを知ることができました。

【4】「田んぼアート」JAたいせつ青年部

JAたいせつでは、消費者の方々に様々な視点から農業に興味・関心を持っていただけるように、2006年からJAたいせつ青年部が中心となり、田んぼに絵を表現する「田んぼアート」に取り組んでいます。稲の葉色の違いを利用し6色で構成された巨大なアートが完成するまでの道のり、緻密な測量に基づく下絵づくり、こられの作業にける「JAたいせつ田んぼアート実行委員会」の皆さんの熱意に頭が下がる思いです。

今年のテーマは北海道命名150年を記念した動物たち



たて40m×よこ170mの田んぼに、オオワシ・エゾユキウサギ・ヒグマ・キタキツネ・タンチョウたちが田んぼの中で躍動する様子が表現されていました。

これからが見頃という時期ではありませんでしたが、カメラでは収まりきれない壮大なスケールのアートでした。

【5】フラノマルシェ

研修の最後に、富良野市にあるフラノマルシェを視察しました。市民・観光客など大勢の人々が自由に集う憩いの場であり、物産センターやテイクアウトショップ等もあります。地元の農と食の魅力の発信の仕方など、大変参考になりました。





いしかりで農婚!



農園カフェで素敵な出会い! 恋も野菜も収穫の秋



いしかり農業青年と独身女性の交流会

開催日 平成30年10月20日(土)
応募資格者 農業に関心のある独身女性
(概ね25歳~45歳)



詳しくはこちらまで

申込・問合せ先
石狩市農業総合支援センター
TEL 0133-66-3345
FAX 0133-66-3335



おめでとうございます



木村武彦
委員と袴田
勝委員が、
平成29年
度北海道農
業会議永年
勤続者表彰
を受賞しま
した。

左から袴田委員・須藤会長・木村委員



全国農業新聞の購読申込みについて

全国農業新聞は農業者の公的代表機関である農業委員会系統組織が発行する農業総合専門紙であり、経営とくらしに役立つ新聞として高い評価を受けています。この機会に購読してみませんか?

全国農業新聞の購読の申し込みは農業委員会で受け付けていますので、お申し込み等お気軽にお問い合わせください。

- ◆毎週金曜日発行
- ◆購読料は月額700円
(年間8,400円)

電話 0133-72-3147



「農業者年金」に加入しましょう!

詳しくはJA窓口、農業委員、農業委員会事務局へおたずねください。

- ①積み立て方式で少子高齢時代に強い
- ②保険料の額は自由に決められる
- ③80歳まで保証付の終身年金
- ④保険料は全額、所得税の社会保険料控除の対象
- ⑤意欲ある担い手は国から助成を受けられる

「農業者年金」は農業者の老後安定・福祉向上を図る、積立方式確定拠出型の年金で、様々なメリットがあります!

※年金受給者が亡くなられた場合には届出が必要で、JA窓口、農業委員会事務局までご連絡ください。

編集後記

8月10日、11日とRISING SUN ROCK FESTIVAL 2018 in EZOが開催され、今年も過去この会場から発生した生ゴミを堆肥にして栽培したジャガイモを、調理販売しました。

音楽を楽しんでもらいながら、ジャガイモを食べることで、農業や循環のことに触れてもらい、将来この中から石狩への移住者や農業者が誕生するきっかけになればいいな...と思っています。



編集委員
小林卓也

ひだまり編集委員紹介

- ◆羽田美智代 委員
- ◆西村尚司 委員
- ◆小林卓也 委員の3名です

「皆さんからのご意見お待ちしております!」

農業委員会事務局職員紹介

4月1日付で人事異動がありました。よろしく願いいたします。

事務局長	百井宏己
事務局次長	吉井重正
農地振興担当主査	田中昌子
同 主任	村上勝美

編集・発行 石狩市農業委員会

〒061-3292 石狩市花川北6条1丁目30-2
石狩市役所3F
TEL 0133-72-3147
FAX 0133-72-3540